２０１４年9月１２日

報道関係各位＜お知らせ＞

阪急阪神ホールディングス株式会社

～「阪急阪神 未来のゆめ･まち基金」第６回助成プログラム～

助成対象団体募集　１団体最高８０万円

新しく部門別の募集を行い、従来よりも多様な市民団体を応援します！

阪急阪神ホールディングスでは、「未来にわたり住みたいまち」づくりに向け、グループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ･まちプロジェクト」を推進しています。この一環として、今年度も、阪急阪神沿線で地域の安全・美化活動や環境保全、子どもたちの育成等を行っている市民団体への助成プログラムを実施し、助成を希望する団体を募集します。

このプログラムは、当社グループ従業員の募金による「阪急阪神 未来のゆめ･まち基金」の積立金に、当社が同額を上乗せして、市民団体に対して助成するものです。過去５回で５７団体、累計総額２，６３０万円の助成を行ってまいりました。また、当社グループでは、助成金による支援に加え、広報協力や当社主催イベントでの協働など、様々な形で助成対象団体の活動を支援しています。

第６回目となる今回は、より多様な市民団体の活動をサポートできるよう、プログラムを改新し、「地域活性化部門」と「社会事業活性化部門」という２部門に分けて募集を行います。両部門を合わせて、総額６００万円、１１団体程度への助成を予定しています。

プログラムの概要は次のとおりです。

１．助成対象団体

（１）団体の要件

阪急阪神沿線（※1）を活動フィールドとし、『地域環境づくり』または『次世代の育成』（※2）の分野における活動実績が３年以上ある非営利の市民団体

（※１）阪急阪神沿線：当社グループの主な鉄道の駅または主なバスの営業所がある２２市町

（※２）『地域環境づくり』：地域コミュニティが安全・安心かつ文化的で環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくり（例：地域の安全・美化活動、里山保全、地産地消、世代間交流など）

『次世代の育成』：未来の地域社会を担う子どもたちが、夢を持ち、健やかに成長する機会づくり（例：子どもたちのための、自然体験、環境教育、文化・芸術・スポーツ活動、国際理解、福祉など）

（２）募集部門

「地域活性化部門」：沿線地域を活動フィールドに、地域･社会の様々な課題を解決するための事業に取り組む団体向けです。
助成金額は１団体あたり最高４０万円で、７団体程度に助成します。

「社会事業活性化部門」：沿線地域を活動フィールドに、社会の様々な課題を解決するための事業に取り組む市民団体で、市民団体ならではの事業モデルと安定的に事業が継続する仕組みをもち、一定の財政規模と事業の推進体制がある団体向けです。
助成金額は１団体あたり８０万円で、４団体程度に助成します。

２．プログラムの特徴

（１）阪急阪神沿線で活動する市民団体を支援

当社グループ発祥の地「阪急阪神沿線」を主な活動地域とする市民団体への助成に特化し、より地域の発展につながる活動を支援します。

（２）助成金の使途が自由

助成金の使途を特定せず、市民団体の運営資金にも利用できるなど、使いやすさに配慮しています。

（３）助成金の半額はグループ従業員の募金

助成金は、当社グループの従業員の募金を積み立てる「阪急阪神 未来のゆめ･まち基金」と当社から半額ずつ拠出します。当社グループの従業員一人ひとりの募金が、助成金の拠出を可能にしています。

３．助成実施までのスケジュール

２０１４年	１０月　１日	応募受付開始
	１０月　９日	募集説明会（阪急電鉄本社ビルにて開催）
	１１月１０日	応募締切（１８時事務局必着）
	１２月　中旬	書類選考
２０１５年	２月１７日・２月１８日	本選考（面接あり）※左記いずれかの日に、ご参加いただきます。
	３月　下旬	助成金のお渡し

４．実施体制

主　　催：阪急阪神ホールディングス株式会社

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」参加６１社

（詳細は、http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/kikin.html ご参照）

助成事務局：社会福祉法人　大阪ボランティア協会

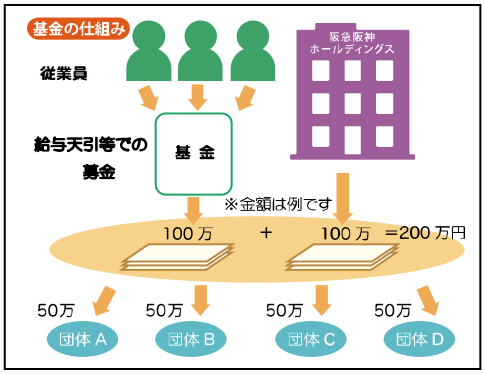
５．助成に関するお問い合わせ・お申し込み先

社会福祉法人　大阪ボランティア協会　ＴＥＬ：０６－６８０９－４９０１

【ご参考】「阪急阪神 未来のゆめ･まち基金」について

２００９年４月に、「阪急阪神　未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として設立した基金です。当社グループ従業員のうち、希望者約９００人が参加し、給与天引、現金振込等により募金を積み立てています。

給与天引による従業員の毎月の募金額は、「阪急阪神」にちなんで、一口８９円（はんきゅう）・上限８４口（はんしん）（現金振込の場合は一口年額１，０００円）と、参加しやすく設定することで、従業員の自発的な社会貢献活動への参加促進を図っています。



※昨年度は、以下の１５団体（５０音順）に総額６８０万円を助成

ＮＰＯ法人あっとオーティズム（芦屋市）、ＮＰＯ法人おおさかこども多文化センター（大阪市）、カクテルホイップ（東大阪市）、特定非営利活動法人川西再発見（川西市）、川西里山クラブ（川西市）、特定非営利活動法人関西ＫＩＤＳコミュニティ協会（池田市）、ＮＰＯ法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ（神戸市）、特定非営利活動法人すいた市民環境会議（吹田市）、西宮自然保護協会（芦屋市）、ＮＰＯ法人西淀川子どもセンター（大阪市）、特定非営利活動法人はらっぱ（西宮市）、東お多福山草原保全・再生研究会（三田市）、特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン関西（宝塚市）、ふるさと島本案内ボランティアの会（島本町）、特定非営利活動法人レット症候群支援機構（枚方市）

以　上

【添付資料】

① 別紙 これまでに「阪急阪神　未来のゆめ・まち基金」が助成した市民団体との連携についての活動事例

② 「阪急阪神 未来のゆめ･まち基金」助成プログラム 募集チラシ

【お知らせ配布先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

報道機関からのお問い合わせ先

阪急阪神ホールディングス株式会社　グループ経営企画室　広報部　ＴＥＬ．０６－６３７３－５０９２

別　　紙

～未来にわたり住みたいまちづくりに向けて～

これまでに「阪急阪神　未来のゆめ・まち基金」が助成した市民団体との連携についての活動事例

阪急阪神ホールディングスでは、助成対象とした市民団体を「未来にわたり住みたいまち」づくりに向けた重要なパートナーと考えています。そのため、助成金による支援に留まらず、グループが持つ媒体「ＴＯＫＫ」(※1) を活用した広報協力により、沿線の方々に広く市民団体の活動を知っていただくとともに、より良い沿線づくりに向けて、助成対象団体と当社グループの協働の取組みも実施しています。

（※１）阪急コミュニケーションズが月２回発行し、阪急電鉄の８７駅を中心とする約６００カ所で毎号６０万部を無料配布している阪急沿線の情報紙「ＴＯＫＫ」で、団体の活動を紹介している。

助成金・広報協力に対する評価　～過去に助成を受けた団体からのお声～

① 助成金について

特定非営利活動法人　チーム御前浜・香櫨園浜　里浜づくり (※2)

「これまで近隣自治体等から都度借用していた海浜清掃機材を、収納庫と一式購入することができ、より効率的にビーチクリーニングが行えるようになりました。この助成は使途の制約がなく、大変貴重です。」

（※２）第１回助成先。西宮市の御前浜・香櫨園浜の環境保全や活性化活動を行う。

② 広報協力について

特定非営利活動法人 Japan Hair Donation & Charity (※3)

「ＴＯＫＫを見てヘアドネーション (※4) の存在を知り、寄付してくださった方がいらっしゃいました。また、多くの問合せもいただきました。」

（※３）第４回助成先。医療用ウィッグの無償提供を行う。

（※４）髪の寄付。Japan Hair Donation & Charity では、寄付された髪を病気等で髪の毛を失った子供達に贈る医療用かつらの製作に使用。

協働の取組みの例　「阪急阪神　ゆめ・まちチャレンジ隊」への参加

阪急阪神ホールディングスグループが取り組んでいる夏休みの小学生向け体験学習プログラム「阪急阪神　ゆめ・まちチャレンジ隊２０１４」では、これまでの助成対象団体から７団体にご協力いただき、クラフトや演劇等の楽しいコーナーが満載のイベントを実施し、ともに子どもたちのチャレンジを応援しました。

箕面里山工房 (※5)「間伐材の木工教室」

（※５）第３回助成先。

森林資源の有効活用・里山の保全を行う。

カクテルホイップ (※6)「みんなで創ろう！即興演劇」

（※６）第５回助成先。

インプロ（即興演劇）を用いて、コミュニケーション力の向上を支援。

阪急阪神
未来のゆめ・まち基金

助成プログラム 第6回

「地域環境づくり」や「次世代の育成」に取り組む、地域の皆様を応援します。

第6回 助成対象団体募集！ 11団体程度

応募期間 2014年10月1日(水)～11月10日(月) [18:00 助成事務局必着]

ごあいさつ

わたしたちは、「『安心・快適』、そして『夢・感動』をお届けすることで、お客様の喜びを実現し、社会に貢献する」ことをグループ経営理念として掲げ、2009年度から「未来にわたり住みたいまち」づくりに向けた社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を、グループで推進しています。

この助成プログラムは、従業員の募金による「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の積立金と、当社による同額上乗せ寄付により、市民団体の皆様に助成金をお届けするものです。6回目の募集となる今回は、より多様な市民団体の皆様の活動をサポートできるよう、プログラムを改新し、「地域活性化部門」と「社会事業活性化部門」という2つの部門を創設しました。両部門を合わせて、総額600万円、11団体程度への助成を予定しております。

皆様からの積極的なご応募を、心よりお待ちしております。

阪急阪神ホールディングス株式会社

プログラムの特徴

1 「地域活性化部門」と「社会事業活性化部門」の2部門を新設！ NEW

地域に根差して活動する団体向けと、社会課題解決のための事業を行う団体向けの2部門で募集します。

2 阪急阪神沿線に特化した市民団体助成プログラム。

当社グループ発祥の地「阪急阪神沿線」で活動する団体に特化して助成することで、より地域の発展につながる活動を支援します。

3 助成金は最高80万円、運営資金にも利用可。

助成金の使途を特定せず、市民団体の運営資金にも利用可能とする等、使いやすさに配慮しています。

4 助成金の半額は、グループ従業員の募金。

従業員有志の募金による「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の積立金に、当社が同額を上乗せして助成します。

募集分野

●地域環境づくり

地域の安全・美化運動、里山保全、地産地消、地域の文化芸能の保全・活用、地球温暖化防止活動 など

●次世代の育成

こども達のための自然体験、環境教育、文化・芸術・スポーツ活動、国際理解、福祉、食育、障がい児支援 など

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第6回助成プログラムについて

1 募集分野

（どちらか1つの分野に当てはまれば結構です）

A.「地域環境づくり」

地域コミュニティが、安全・安心かつ文化的で
環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくり

B.「次世代の育成」

未来の地域社会を担うこども達が、夢を持ち、
健やかに成長する機会づくり

〈詳しくは募集要項7ページ参照〉

2 募集部門

（いずれかの部門を選択してご応募ください）

Ⅰ. 地域活性化部門

沿線地域を活動フィールドに、地域・社会の様々な課題を解決するための事業に取り組む市民団体を募集（最高40万円を助成）

Ⅱ. 社会事業活性化部門

沿線地域を活動フィールドに、社会の様々な課題を解決するための事業に取り組む市民団体で、市民団体ならではの事業モデルと安定的に事業が継続する仕組みをもち、一定の財政規模と事業の推進体制がある団体を募集（一律80万円を助成）

3 助成対象団体の要件（一部）

（1）公益的な活動を行う非営利の市民団体（特定非営利活動法人またはボランティアグループなどの任意団体）で、阪急阪神沿線の市町※1を活動フィールドとすること。

（※1）京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、大阪市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町

（2）募集分野（「地域環境づくり」または「次世代の育成」）における活動実績があり、2015年4月1日現在で団体設立から3年以上経過していること。

（3）会員が5人以上いること。

（4）定款、会則もしくはこれに相当する規約等を整備し、事業報告書やニュースレターなど、過去の活動実績がわかる書類を発行していること。

＊その他、書類の提出や公開などに関して要件があります。
詳しくは「募集要項」「助成申請書」を助成事務局ウェブサイトから入手してご覧ください。

4 応募書類

【必須提出書類】

a. 助成申請書（所定の様式のもの）
b. 組織の規約を示すもの（「定款」や「会則」など）
c. 事業報告書・決算書など（過去1年以上の活動履歴がわかる資料）
d. 団体の概要がわかるパンフレットなど（ホームページの掲載情報でも可）

【任意提出書類】

e. 直近の事業計画書・予算書
f. ニュースレターやチラシなど

5 応募期間

2014年10月1日(水)～11月10日(月) 18時 助成事務局必着

応募書類一式、正本1部を下記助成事務局にお送りください。
持参される場合は、当日18時まで受け付けます。
＊応募書類は返却できませんので、申請者は必ず控えをお取りください。

6 選考方法・選考基準

主催者が行う書類選考と選考委員による本選考（面接含む）により、次の観点から総合的に評価し、決定します。

①プロジェクト重点領域との整合性：プロジェクトの重点領域※に沿った活動である。
②活動目的の社会性：公益性や重要性が高く、市民が取り組む意義がある。
③活動実績：活動目的や社会的背景を踏まえた活動の実績がある。
④企画力：ニーズ等の分析が的確で、目的達成に向けての計画が具体的かつ実現可能である。
⑤連携と共感：多様な人々との連携に向けて開かれており、市民や当社社員から共感・参加を得やすい。
⑥組織の継続発展性：組織・事業が継続する仕組みがあり、今後の発展の可能性がある。

※募集要項7ページ参照

7 助成実施までのスケジュール

2014年11月10日(月) 18時［必着］応募締切 ▶ 2014年12月 書類選考 ▶ 2015年2月17日(火)・18日(水) 本選考（面接あり） ▶ 2015年3月 助成対象団体決定 助成金のお渡し

8 募集説明会 要予約

日時：2014年10月9日(木) 18:30～19:30（開場18:00）
会場：阪急電鉄本社ビル1F エコルテホール（大阪市北区芝田1-16-1）

＊参加は任意です。 選考への影響は一切ありません。
＊事前申込制。「未来のゆめ・まち基金 募集説明会申込希望」と明記して、①団体名、②参加者名、③電話番号を記載の上、下記助成事務局までメール、FAXまたはHPの申込フォーム（http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin/）でお申し込みください。

9 助成事務局（お問合せ・申請書類送付先）

社会福祉法人 大阪ボランティア協会（担当：江渕、永井）
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-20 2F 市民活動スクエア「CANVAS（キャンバス）谷町」
TEL 06-6809-4901 FAX 06-6809-4902 メール office@osakavol.org

「募集要項」「助成申請書」 ダウンロードページ（大阪ボランティア協会HP内）
URL http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin/

＊申請についてのお問合せは、「募集要項」「助成申請書」をご覧の上、助成事務局まで電話またはFAXでお願いします。 ＊「募集要項」「助成申請書」は、上記ウェブサイトからダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、助成事務局に電話またはFAXで請求できます。

第5回 助成対象団体一覧（分野別50音順）

地域環境づくり

- 特定非営利活動法人 川西再発見（川西市）
- 川西里山クラブ（川西市）
- 特定非営利活動法人 すいた市民環境会議（吹田市）
- 西宮自然保護協会（芦屋市）
- 東お多福山草原保全・再生研究会（三田市）
- ふるさと島本案内ボランティアの会（島本町）

次世代の育成

- NPO法人 あっとオーティズム（芦屋市）
- NPO法人 おおさかこども多文化センター（大阪市）
- カクテルホイップ（東大阪市）
- 特定非営利活動法人 関西KIDSコミュニティ協会（池田市）
- NPO法人 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ（神戸市）
- NPO法人 西淀川子どもセンター（大阪市）
- 特定非営利活動法人 はらっぱ（西宮市）
- 特定非営利活動法人 ファザーリング・ジャパン関西（宝塚市）
- 特定非営利活動法人 レット症候群支援機構（枚方市）

※（ ）内は団体の所在地

過去5年間実績

〈助成総数〉 57団体
〈助成総額〉 2,630万円